



奨励賞



①



②



③



④

①梅の実収穫体験、②森のマルシェ、③恐竜王国、④スターライトキャンプ

民間のノウハウによる昭和の森の魅力向上と賑わい創出

株式会社塚原緑地研究所

斉藤久芳・佐藤広史・塚原道夫

「昭和の森」は、面積 106ha を有する千葉市内最大の総合公園です。良好な自然環境を有し、広大な芝生広場、展望台、冒険広場、サイクリングコース、梅林、お花見広場、運動施設、宿泊施設など、多様なレクリエーションを楽しめます。

開園から 44 年経過した 2019 年、千葉市は、昭和の森における初めての指定管理者の公募を行い、当社は「民間パワーで公共施設を活性化して、地域を元気にする」を基本コンセプトに掲げ、指定管理者（20～24 年度）に選定されました。

2020 年 4 月から指定管理者として、ボランティアによる「梅林の再生と活用」、地元の農業法人との連携による「森のマルシェ」、常設の恐竜パーク「恐竜王国」、1泊2日の宿泊体験「スターライトキャンプ」など賑わい創出のための様々な自主事業を展開しています。

作品概要

作品名—— 民間のノウハウによる昭和の森の魅力向上と賑わい創出

所在地—— 千葉県千葉市緑区土気町22番地

発注—— 千葉市

業務目的—— 昭和の森の魅力向上と賑わい創出

事業期間—— 2020年4月～2025年3月

事業規模—— 106ha

主要施設—— 太陽の広場、冒険広場、恐竜王国、サイクリングコース、大型ローラー滑り台、展望台、お花見広場、梅林、下夕田池、湿生植物園等

作品評

本作品は、106ha という市内最大の総合公園について、指定管理者による公園の効率的な運営とサービス向上を図るとともに、提案自主事業により公園の魅力を上出し、賑わいを創出した事例である。

応募者は、管理コストの徹底した縮減を図ると共に、その結果生じた力を魅力の向上と賑わいの創出（幅広い利用者の誘致と多様なサービスの提供）、ならびに利用者や市民へ向けたサービスと PR の拡充に宛てている。また、公園の利用者並びに関係者の意見・要望等を今後の管理運営に反映するために「昭和の森運営会議」を開催し、その結果、苦情や要望は当初から 1/4 に減少した。こうした努力の結果は、利用者数の増加や満足度の充実といった具体的な数字にはっきりと表れている。

応募者は、指定管理者による公園等の魅力向上と利用者増大に関して、数々の実績を持つものであり、その実績と経験を示す好事例であるとも思われたが、説明資料では成果の説明だけでなく、指定管理で携わって何が得られたか、といった示唆も重要ではないか、という意見もあり奨励賞となった。